

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
28	小・中学校作品展補助金	教育部教育指導課

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	市立小・中学校の児童・生徒の作品等を一堂に会して展示することにより、児童・生徒の創作意欲の向上と鑑賞力等豊かな情操を育てるとともに、市民への学校教育に対する理解、関心を高める。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要	職員の業務内容	
	【補助対象】 小学校校長会及び中学校校長会 【補助金額】 小学校: 455,000円 中学校: 290,000円 【事業内容】 例年1月下旬の週末に「南町スポーツ・文化交流センターさらっと」において、小・中学生の図画・工作・書写等の作品の展示会を開催する。 【主な補助金の使い道】 ポスター、消耗品、作品の運送代	【業務フロー】 ①補助申請受付 ②申請内容確認 ③交付決定【決定通知書の発行】 ④口座振込【伝票処理】 ⑤口座振込エラー対応 ⑥実績報告書収受【余剰金伝票処理】 ⑦実績報告書内容確認 ⑧補助金額確定【補助金額確定通知書の発行】	
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)			692	670	745
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		692	670	745	745
所要人員(B)		人	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	76	75	77	79
臨時職員賃金等(C')		千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	768	745	822	824
単位当たりコスト						
(E)=(D)/ (来場者数)		千円	0.1	0.1	0.1	-

評価指標	指標名		単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	来場者数(小学校・中学校合計)	実績値	人	7,577	8,166	7,733	
		実績値					
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 本事業に対する市民の認知度も上がっており、毎年来場者数も増加していたが、H29年度の冬季は、インフルエンザの大流行等の影響もあり、来場者数が減少した。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	会場アンケート(80件) 非常に良かった・・・およそ8割 展示の工夫(場所が分りづらい等)・・・1割 その他(会場・案内・作品)・・・1割	
	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣5市において、校長会を対象とした補助金事業としているのは本市のみであるが、学校の創意工夫により魅力ある展示会となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市内、小学校の児童・中学校の生徒それぞれを一堂に会した作品展は、市や学校が主体となって実施しなければ実現しない。

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	優先度(緊急性)は低い、継続して実施する事が望ましい。
事業の必要性	普通	児童・生徒の創作意欲の向上や文化芸術振興にも寄与する事業である。
実施主体の妥当性	適正	市立小・中学校の作品展であり、市や学校が主体となって実施する必要がある。
事業(補助)の対象	適正	作品展を実施する各校長会への補助であり、適切である。
事業(補助)の内容	適正	作品展の実施に伴う必要な経費の補助であり、適切である。
受益者負担	適正	受益者負担を求めべき事業ではない。
事業コスト	普通	ポスター作成費や作品の運送代が主な経費であり、標準的なコストである。
業務負担	軽い	補助金交付に伴う事務処理が中心であり、業務負担は軽い。
一次評価	今後の実施に向けた方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	児童・生徒の豊かな情操を育てるとともに、市民に対して広く市立小・中学校の図画、工作、書写等の作品を一堂に会して展示することにより、学校教育に対する理解、関心を高めることに寄与しており、継続して実施していくことが望ましいと考える。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	優先度(緊急性)は低い、継続して実施する事が望ましい。
事業の必要性	普通	児童・生徒の創作意欲の向上や文化芸術振興にも寄与する事業である。
実施主体の妥当性	適正	市立小・中学校の作品展であり、市や学校が主体となって実施する必要がある。
事業(補助)の対象	課題有	各校長会への補助金支出については見直しを検討する必要がある。
事業(補助)の内容	適正	作品展の実施に伴う必要な経費の補助であり、適切である。
受益者負担	適正	受益者負担を求めべき事業ではない。
事業コスト	高い	実施方法の見直し等により効率化を図る必要がある。
業務負担	軽い	補助金交付に伴う事務処理が中心であり、業務負担は軽い。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	現在、小学校・中学校の作品展は開催日程を分けて別々に実施されているため、会場の設営や作品の展示、撤去など教職員の業務負担の軽減などの観点から改善・見直しを図る必要があるものと考えられる。展示可能な作品数などの課題はあると考えるが、事業目的にあるとおり、児童・生徒の作品を一堂に会して展示することで、より幅広い年齢の作品に触れ、創作意欲の向上や学校教育に対する理解促進が図られるものとする。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--